

# Multi Colors

学生が作る学生のための音楽祭

## 意図

今、感じたこと、経験したことを表現し、誰かに伝えてほしい。

2003年にアメリカで公開されたコメディ映画“School Of Rock”。

ギタリストのデューイは、バンドをクビになってしまい、ひよんなことから名門進学校の教師になる。無気力な子どもたちにロックの楽しさを伝え、デューイの熱意に触れた子どもたちと一緒にバンドバトルでの優勝を目指す…というのが本編のあらすじだ。

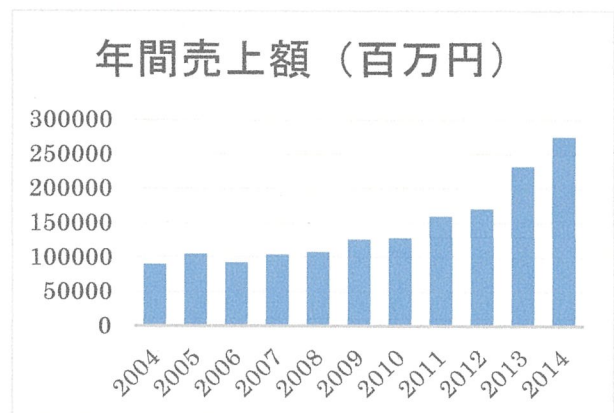
日本でも映画やTVドラマの放映があり、作品を知っている人は多いのではないだろうか。

今回は、スクール・オブ・ロックの題材となっている“学生と音楽”をキーワードに、学生が多彩な音楽を表現し、発表する“Multi Colors”というイベントを提案する。

人生の中で、誰もが必ず触れるであろう“音楽”。

電車の中や信号待ち、見渡せばイヤホンを挿して音楽を聴いている人はとても多い。音楽は私たちの生活の中に広く親しみ、欠かせないものである。

1990年代後半からCDの売上の減少が続いているが、同じ音楽市場であるコンサート・音楽フェスの観客動員数、チケット売上は上昇傾向にある。過去10年間で入場者数は約2.5倍、チケット売上は約3倍になっており、ライブに足を運ぶ若者は増えているとって間違いないだろう。しかし、コンサート・音楽フェスのチケットは決して安いものではなく、国内の大規模フェスであるCOUNT DOWN JAPANやFUJI ROCK FESTIVALなどもチケットは1日1万円程度と比較的高価な料金設定となっている。学生には簡単に出来る金額ではなく、コンサートやフェスに行ったことのない学生も多いのではないか？



出展：And More! 2015年の夏フェス入場者から見る新しい潮流

<http://andmore-fes.com>

イヤホンを通した音でなく、生の音に触れてほしい。

このイベントの入場料は無料に設定した。チケットが無料であることや、学校の友達、それ以外にも同世代のアーティストの活動を見られるということで少しでもライブへのハードルを下げ、音楽へ触れる機会を増やしてほしいという思いからだ。

また今回は、イベントの出演者や来場者という形での音楽との関わりだけでなく、スタッフとしてのアプローチも提案する。企画や運営、渉外に携わり、地域社会と交流したり、制作に関する業界などについて知ることが出来たりと進路選択の糸口になると考える。さらに、学校や学年を超えた学生同士での交流・親睦を深め、視野・見聞を広めるとともに新たなネットワークの形成を目指しコミュニケーション能力や協調性の推進にもつながるだろう。

冒頭に述べた通り、このイベントの目的は、感じたことや経験してきたことを“表現して伝える”ことだ。音楽という、時代や風土に沿って多様化してきた文化をきっかけとして、10代の多感な様々な人や文化と触れ合い、社会との交流を図ることによって、柔軟な思考や多様性を享受してほしい。学生である私たちも、いずれ社会人になる。誰かが起こす事象を待つのではなく、自らの経験を活かしたアイデアや考えを表現し、社会に貢献できることができる人物を育成する、という目標をもってこのイベントを企画する。

## イベント概要

---

開催日時：2022年3月19日(土)~20日(日)

pm12:00~18:00

開催場所：日比谷野外音楽堂

出演者：高校・大学生アーティスト各日10組

ゲストアーティスト各日1組

### 〈3月19日 ミュージックの日〉

「音楽の日」を社会に定着させるため、319(ミュージック)の語呂合わせから、1991年に日本音楽家ユニオンにより提案された。音楽に関するこの日に合わせ、このイベントを開催したい。

## イベント概要

---

〈出演〉 全国から高校・大学生のアーティストを公募。参加資格は、メンバー全員が高校・大学に在籍していること。演奏楽曲はロック、クラシック、J-POP、和楽器などジャンルを問わずエントリー可能とする。応募時には、アーティスト自身が演奏した音源1曲の送付を求め、それをもとに審査を行う。審査内容は大手レコード会社3社のプロデューサーによる音源審査と、WEBサイトに同音源を公開しオーディエンスから投票を募るWEB審査がある。音源審査では主に演奏技術が審査の判断材料となる。これらの審査により、各日10組を目安にアーティストを絞り込む。当日の演奏時間は各アーティスト25-30分を予定している。

〈来場〉 イベントへの来場は原則無料。

来場時にはペーパーリストバンドを配布し、腕に着用してもらう。リストバンドにはQRコードを印字し、読み取ることでデジタルパンフレットをダウンロードできる。パンフレットからは当日のスケジュールや出演者の情報をスマートフォンなどから確認できるようになっている。リストバンドを身に着けていれば、開催時間内の入退場は自由。

また、イベント終了時にはオーディエンス投票が行われる。アーティスト毎に箱を設置し、来場者が一番いいと思ったアーティストの箱に切ったリストバンドを入れる。箱に入っているリストバンドの数が一番多いアーティストに、オーディエンス賞が贈られる。



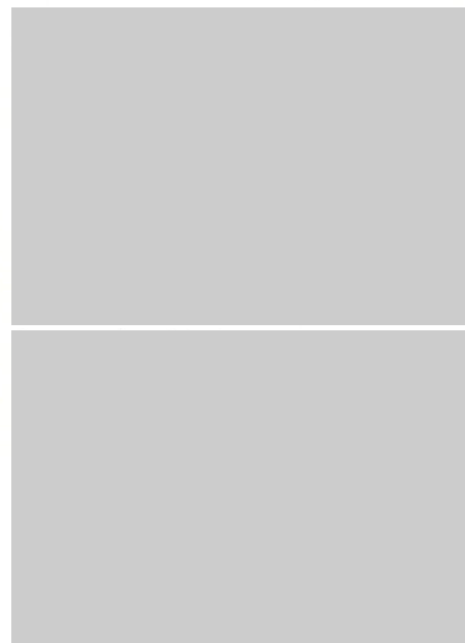
イベントイメージ画像



ペーパーリストバンド例

出展：GiG-BAND.COM web サイト

〈運営〉 運営・企画スタッフも出演と同じように、全国から高校・大学生のボランティアスタッフを募集。イベント中に行う企画の提案・準備や、開催に伴う手続きのための書類作成、当日の入場案内や注意喚起、アーティストの対応など、スタッフとしての全ての仕事に携わる。スタッフ同士で協力し効率的に作業をする方法や、イベントの宣伝方法、企業やアーティストと連携し円滑なコミュニケーションをとる方法などを模索しながら、イベントの成功を目指す。



イベントイメージ画像

〈賞〉 出演アーティストの演奏終了後、イベント全体のグランプリ、準グランプリを審査員により選考し、授与する。また、上記の通り来場者の投票により、オーディエンス賞を各日1組に与える。審査は国内大手音楽レーベルのプロデューサーを招いて行い、受賞したアーティスト以外の全てのアーティストも講評を受けることができる。

〈広報〉 イベントの宣伝はWEBサイトやSNSをメインに各メディアで行う。イベント前から定期的に活動・企画やアーティストの紹介の投稿をし、積極的に来場を促したい。また、地域の新聞やフリーペーパー、TV、ラジオなどのマスメディアにも出演し、イベントをアピールする。

開催内容は以上である。このイベントの主体とした学生たちに、音楽や芸術にさらに触れてほしい。さらに、音楽という日常生活に沿った芸術をメインとして企画したこのイベントが、我々が芸術から学んだ表現や想像力を、社会生活に活かすきっかけとなることを願っている。